

法人（事業所）理念		強く逞しく生きていくために「いま」必要な体験を通して「人と一緒にいるのっていいな」と感じられるようなきっかけを作っていきます。		
支援方針		小集団の中で個を理解し信頼関係を築き、自信をもって社会へ出て行くための力を養っていきます。		
営業時間		9：00から17：00まで	送迎実施の有無	なし
		支 援 内 容		
本 人 支 援	健康・生活	規則正しい生活が基盤となるよう日常生活を見直し、食事・運動・睡眠が健康的に営まれていくように支援していきます。手作りおやつを提供し偏食や少食の改善等、食育にも力を入れていきます。		
	運動・感覚	苦手な分野の動きは自然に身に付かないだけでなく年齢を重ねるごとに問題が複雑化する傾向があります。粗大運動や微細運動の苦手さに早いタイミングで対応し、教え方を工夫し練習を重ねていきます。		
	認知・行動	幼児期の集団生活は初めての経験が多くむずかしい時期でもあります。しかし、子どものつまづきがそれほど複雑化していないのでサポートの効果が出やすい時期でもあり、保育者が子どもに適した関わりをしていくことで成長を促していきます。		
	言語・コミュニケーション	ことばだけでなく見てわかる情報も添えて伝えることで聞いて理解することが苦手な子ども自信をもって動けるようになります。その結果、理解する⇒自信をもって行動する⇒認めてもらうという一連の経験ができ、自信と大人への信頼を育てていきます。		
	人間関係・社会性	保育者がお手本となってやり取りの方法を見せたり、他の子どもの遊びのイメージを簡単な言葉で伝えていきます。まずは保育者と遊ぶところからスタートし、友だちとの遊びに広げるチャンスを探していきます。		
家族支援		家庭とルールを一貫させることで子どもの気持ちや行動が安定し生活の混乱を減らすことができます。常に情報共有をさせていただき、よりよい方法を見出していきます。参観や面談の時間を定期的に設け保護者様の悩みに寄り添っていきます。		
移行支援		就学後の生活を想定した事前練習を始めていきます。就学後も安心して過ごすことができるように情報共有させていただきます。		
地域支援・地域連携		併行通園している園の先生方と情報共有させていただき実践に結びつけるなど必要時連携させていただきます。		
職員の質の向上		アドバイザーの意見を参考にしながら定期的に事例検討会を実施しています。また、よりよい療育を目指し社内外の研修会に参加しています。		
主な行事等		先輩ママとの懇談会や公認心理師による講話等、保護者会でいただいたご希望を中心に年に数回計画していきます。		